

## 「ひめはるの里」オープン情報

2010年  
4月  
オープン予定

誰もが感動し、元気になれる場所、「ひめはるの里」

ニチイグループでは、「やさしさを、私たちの強さにしたい。」をブランドスローガンに掲げ、当社グループサービスにより、人々の日常生活をより豊かにする「感動」と「癒し」を提供いたします。

株式会社ニチイグリーンファームでは、千葉県茂原市にある「ひめはるの里」のオープン(2010年4月予定)に向けて準備を進めています。

バラやジャーマンアイリス、犬とのふれあい、地産地消の豊かな食の提供による新たなサービスの開拓を行い、これまで長年にわたり手がけてきた花卉や種苗の生産・販売に加え、自然との触れ合いを重視した事業への参入を果たすことで、ニチイグループの経営資源との相乗効果を追求し、更なる事業拡充を推進してまいります。

## 株主メモ

事業年度 4月1日～翌年3月31日  
期末配当基準日 3月31日  
中間配当基準日 9月30日  
定時株主総会 毎年6月  
株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社  
同 連 絡 先 〒137-8081 東京都江東区東砂7丁目10番11号  
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
TEL 0120-232-711 (通話料無料)  
同 取 次 所 三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店  
上場証券取引所 東京証券取引所(証券コード 9792)  
公 告 方 法 電子公告  
(<http://nichii-ir.irbridge.com/ja/AccountingAnnounce.html>)

### 【お知らせ】

○株式に関するお手続き用紙のご請求について  
株式に関するお手続き用紙(届出住所・印鑑・姓名等の変更届、配当金振込指定書、単元未満株式買取請求書、名義書換請求書等)のご請求につきましては、上記株主名簿管理人にてお電話ならびにインターネットにより24時間受け付けておりますので、ご利用ください。

◎0120-244-479(三菱UFJ信託銀行本店証券代行部) 通話料無料

◎0120-684-479(三菱UFJ信託銀行大阪証券代行部) 通話料無料

◎インターネットアドレス<http://www.tr.mufg.jp/daikou/>

なお、株券保管振替制度をご利用の株主様は、お取引口座のある証券会社にご照会ください。



株式会社 ニチイ学館

〒101-8688 東京都千代田区神田駿河台2丁目9番地  
TEL:03-3291-2121(代表) 03-3291-3954(広報本部)

# 株主のみなさまへ

## 第38期 中間報告書

平成21年4月1日から平成21年9月30日まで



## 【TOPICS & CONTENTS】

<b>1</b>	<b>新経営執行体制の 進捗のご報告</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 会長・社長あいさつ P01</li> <li>● 上期の振り返りと今後の取り組みについて P02</li> </ul>
<b>2</b>	<b>全事業において 黒字化を達成しました。</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 全体概況・部門概況 P04</li> <li>● 要約財務諸表 P08</li> </ul>
<b>3</b>	<b>当中間期における 新たな取り組みをご紹介します。</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 第38期中間のニチイTOPICS P10</li> </ul>
<b>4</b>	<b>配当情報を 掲載しています。</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 株式に関するお知らせ P12</li> <li>● 株主・会社情報 P13</li> </ul>
<b>5</b>	<b>ニチイグループ 新サービスのご案内</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「ひめはるの里」オープン情報 裏表紙</li> </ul>

国民皆保険制度のスタートから半世紀、社会保障制度とともに歩んできたニチイでは、今後も、国民生活の安心に繋がる新たな価値の創造に取り組んでまいります。

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。  
第38期中間(平成21年4月1日～平成21年9月30日)のご報告にあたり、ご挨拶申し上げます。

平成21年4月より、新経営執行体制での事業運営が本格稼動し、半年が経過致しました。

当中間期における我が国の社会保障政策の動向は、従来の抑制傾向「低福祉・低負担」から「中福祉・中負担」へと見直しが進められており、雇用創出力の高い医療・介護分野での内需拡大に向けた社会保障機能拡充策が検討・実施されております。

このような事業環境の中、ニチイグループにおきましては、医師の事務負担軽減や医療機関経営の包括的サポートを目的とした新サービスの開発、幅広いニーズに対応可能なトータル介護サービスの拡充、多様なスキルを習得できる教育講座展開に努め、当社事業の拡充に取り組むとともに、医療・介護スタッフへ

の積極的な処遇改善実施に取り組む等、社会保障分野の抱える課題解決にも注力してまいりました。

今後も高齢化の進展が加速する我が国において、ライフスタイルや価値観に対応してニーズは多様化することが予想されております。

ニチイグループでは、今後も安定且つ持続可能な社会保障制度構築への一助となるよう、社会ニーズに合致した、国民生活の安心に繋がる新たな価値の創造に取り組んでまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

写真左 代表取締役会長  
寺田 明彦  
Akihiko Terada

写真右 代表取締役社長  
寺田 大輔  
Daisuke Terada



## 【社是】

誠意・誇り・情熱

## 【経営理念】

私たちは誠意を以て社会参加の信条とし、社業の社会的使命を弁え、誇りをもって行動し、若々しい情熱で限りない未来への可能性に挑戦します。そして、社業の発展を通して豊かな人間生活の向上に貢献します。

## 【ニチイグループのブランドスローガン】

やさしさを、  
私たちの強さにしたい。



# 上期の振り返りと今後の取り組みについて

**Q1** 新経営執行体制における新たな経営方針についてお聞かせください。

**A1** 新たな経営方針「家族愛経営」のもと、安心して生活できる環境・サービスを創り出しています。

私たちニチイグループでは、今年度より、「家族愛経営」を経営方針として掲げ、生活支援サービスの拡充や新たなサービス領域への拡大を推し進めています。私たちが考える「家族愛経営」とは、グループ10万人の社員とその家族が、働きやすく生活しやすい環境やサービスを創り出すこと、延いては国民が安心して生活できるサービスの創出へと発展させていくことにあります。



代表取締役社長  
寺田 大輔  
Daisuke Terada

**Q2** 新たな経営方針のもと事業運営を進めた中間期を振り返り、そのポイントについてお聞かせください。

**A2** サービスの拡充、スタッフの処遇改善を通じて企業価値向上に繋げてまいります。

中長期的な事業戦略として、医療・介護分野が抱える様々な課題に対応するサービスの開発や効率的なサービス展開の推進に努め、資本・業務提携やスタッフの処遇改善等の戦略的な投資にも積極的に取り組んできました。

業績面では、事業環境の変化に合わせて取り組んできた事業改革と戦略投資が実を結びはじめており、教育事業、ヘルスケア事業の収益性の大幅な改善により全事業での黒字化を果たしました。

## 〈戦略的な資本・業務提携〉

音声認識技術に強みを持つ株式会社アドバンスト・メディアの技術力と、当社の持つ人間力を共有・活用し、医療・介護・教育の各分野においてイノベーションを生み出すことを目的とし、資本・業務提携を結びました。音声認識技術を活かした医師事務作業のIT化促進等の新たなサービスを提供することでニチイグループのサービスを拡大し、一層の企業価値向上に繋げていきます。

## 〈人材への投資〉

現在、介護従事者の雇用環境の改善に向けた様々な施策が国により進められており、この分野への国民のご理解に対する感謝の気持ちを、良質なサービス提供という形で示していきたいと思っています。当社

においても、国に頼るだけでなく、自らの改善努力により、医療・介護分野が魅力ある職種となるよう給与アップや研修の充実等の処遇改善に取り組んでいます。スタッフのモチベーションやスキルの向上により生産性を高め、収益力を生み出していきます。

**Q3** 今後の強化すべきポイントについてお聞かせください。

**A3** 生活者一人ひとりのニーズにあったサービス開発と収益改善に努めてまいります。

今後も、社会保障制度に関わる国の方針や、それによる事業者への影響は変化し続けるものと考えられます。めまぐるしい変化を遂げる事業環境の中、ニチイグループでは、サービス基盤の強化と事業効率の更なる向上により、今後も社会保障という人々の生活に密着した分野で、「社業の社会的使命」を果たすべく、生活者一人ひとりが抱える様々なニーズに対応し、株主の皆様のご期待に応えていきます。

## 〈営業基盤の強化とグループ再編〉

安定した事業基盤のもと、特にニーズの高い都市部においてサービスの一層の拡充に取り組むべく、関東・近畿エリアの営業体制の再整備を進めています。グループ全体における営業基盤の強化により、今後の社会に必要なサービスの創出・提供に向けて事業運営の効率化を推進していきます。また平成19年に株式会社コムスンより承継した介護事業の収益が改善傾向にある中、子会社の合併により、当社グループ内でのシナジー効果の追求や、間接部門の費用削減を進め、一層の収益改善に努めていきます。

## 〈多様化するニーズに対応するサービス展開〉

少子高齢化の進展等による今後の人口構造等の変化を見据え、ニチイグループでは、主力事業の更なる成長に加え、障がい者自立支援サービス、家事代行サービスや、保育等の生活者視点に立ったサービスの強化を積極的に進めています。また、地域に密着した価値あるサービスの提供に向け、介護施設の新設や、更なるサービス領域の拡大を進めるとともに、より多様化するニーズにあったサービスの開発・提供にも取り組んでいきます。

## ヘルスケア関連子会社の再編について

■2009年10月に(株)ニチイ学館に吸収合併

(株)ニチイのきらめき (株)ニチイケア京都  
(株)ニチイのほほえみ (株)ニチイケア愛知  
(株)ニチイ関東 (株)ニチイケア岐阜  
(株)ニチイケア兵庫 (株)ニチイケア長野

■2009年10月に(株)ニチイケアパレスに吸収合併

(株)ニチイホーム  
(株)ニチイリビング

■2010年1月に(株)ニチイ学館に吸収合併(予定)

京浜ライフサービス(株)

赤字が居住系介護サービス  
青字が在宅系介護サービスを展開

## 業績は好調に推移、大幅増益を達成

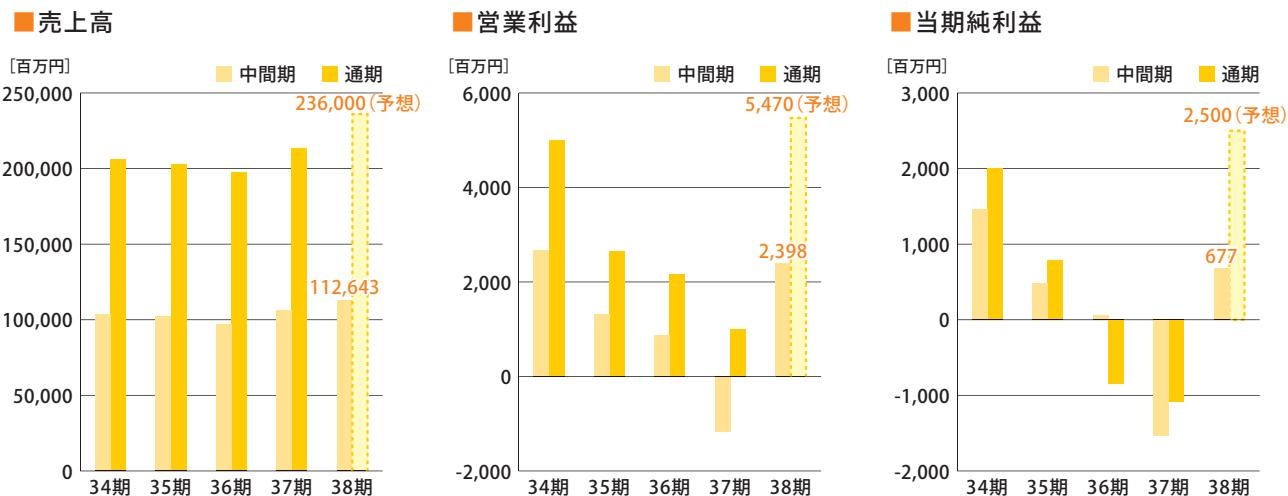
資格ニーズの高まり等から教育事業の受講生数が順調に推移したことや、在宅系・居住系ともに介護サービスの利用者数が増加し、ヘルスケア事業の収益性が改善したこと等から、売上高は増収基調を維持し、収益は改善いたしました。

当中間期の売上高は112,643百万円(前年同期は105,958百万円)と過去最高売上高を更新し、収益につきましても全事業での黒字化を果たし、営業利益2,398百万円(前年同期は営業損失1,181百万円)、

経常利益2,293百万円(前年同期は経常損失1,313百万円)、中間純利益は677百万円(前年同期は中間純損失1,539百万円)の大幅増益となりました。

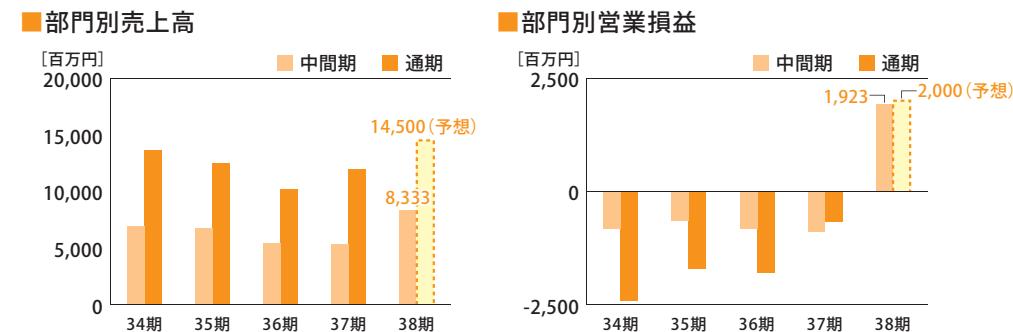
## 通期の業績見通しについて

下期につきましては、幅広いニーズに対応したサービスの拡充や営業体制の強化、事業の効率化を全事業で推し進めてまいります。通期の業績見通しにつきましては、売上高236,000百万円、営業利益5,470百万円、経常利益5,350百万円、当期純利益2,500百万円を予想しております。



### 業績見通しに関する注意事項

業績予想につきましては、現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって異なる場合がございます。



## 医療・介護関連資格の受講ニーズの高まりにより 主力講座が順調に推移、収益も大幅改善

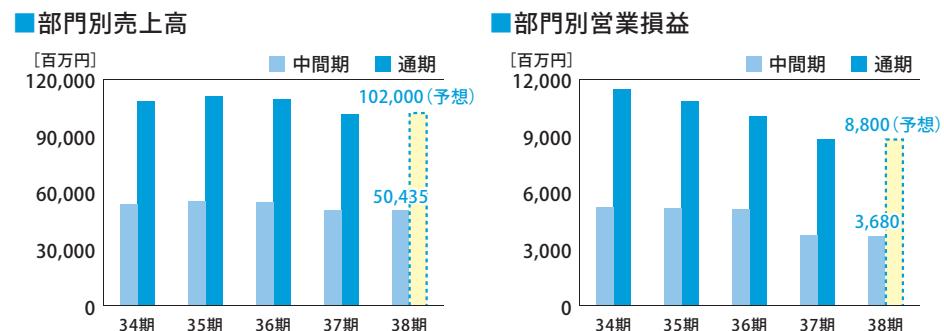


医療・介護関連資格の受講ニーズの高まりを受け、既存講座を積極的に開講いたしました。その他、医師不足対策で注目される医療クラークの養成に向けた「メディカルドクターズクラーク講座」の展開強化をはじめ、医療・介護現場で即戦力となる人材の育成を目指した各種関連講座の販促活動も強化してまいりました。

この結果、主力講座である「医療事務講座」、「ホームヘルパー2級講座」を中心に、受講生数は順調に推移し、売上高は8,333百万円(前年同期は5,346百万円)、営業利益は1,923百万円(前年同期は営業損失887百万円)となり、収益が大幅に改善いたしました。

※部門別売上高につきましては、外部顧客に対する売上高になります。  
※詳細な決算報告につきましては、当社IRサイト (<http://nichii-ir.irbridge.com>) もご覧ください。

## 医療関連事業



### 既受託医療機関との契約適正化の継続とともに 医業経営支援サービスの拡充を進める



医療関連事業につきましては、既存サービスの拡充から新たなソリューションサービスの拡大を進めてまいりました。当中間期は、新規契約先の獲得に向けた営業強化にも取り組み、病院では契約件数が増加傾向へと転じつつあります。

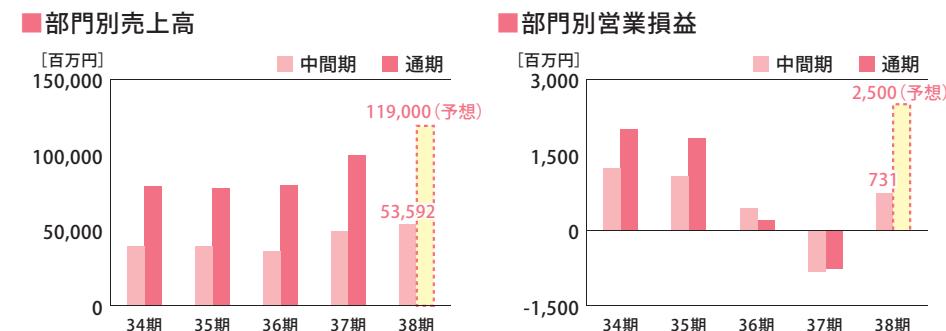
また、医業経営支援サービスの拡充では、5月に100%子会社「株式会社ニチイ総合研究所」を設立し、医療機関に対する包括的なコンサルティングサービスの本格展開に向けた事業基盤の整備に取り組みました。

当中間期における売上高は50,435百万円(前年同期は50,723百万円)、営業利益は3,680百万円(前年同期は営業利益3,736百万円)となりました。

#### 業績見通しに関する注意事項

業績予想につきましては、現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって異なる場合がございます。

## ヘルスケア事業



### 拠点稼働率の向上により、収益が大幅改善 介護スタッフの処遇改善にも取り組む



当中間期は、既存サービスの拡充、新サービスの推進等、トータル介護サービス体制の強化を図ってまいりました。また、4月の介護報酬改定による新たな報酬

体系のもと、スタッフの処遇改善に取り組みました。

在宅系介護サービスにつきましては、ケアプランや訪問介護、通所介護サービスの利用者数が堅調に増加したことに加え、ケアマネジャー一人当たりのケアプラン数の増加やスタッフの稼働の効率化を推進したことにより、収益力が向上いたしました。居住系介護サービスにつきましても、承継後に開設した施設の稼働率が向上したことにより、収益性が前期と比較し大幅に改善いたしました。

この結果、当中間期における売上高は53,592百万円(前年同期は49,516百万円)、営業利益は731百万円(前年同期は営業損失833百万円)と前年対比で大きく伸張いたしました。

※部門別売上高につきましては、外部顧客に対する売上高になります。

※詳細な決算報告につきましては、当社IRサイト (<http://nichii-ir.irbridge.com>) もご覧ください。

# 要約財務諸表

## ■ 連結貸借対照表(要約)

[単位:百万円]

【資産の部】	第38期中間期末	第37期中間期末	前期末
	(平成21年9月30日)	(平成20年9月30日)	(平成21年3月31日)
流動資産	40,709	38,751	37,533
固定資産	79,844	82,563	82,958
有形固定資産	36,149	37,005	36,569
無形固定資産	23,734	23,168	24,055
投資その他の資産	19,960	22,389	22,333
資産合計	120,553	121,315	120,491
▶ 流動資産 内訳			
現金及び預金	5,800	4,421	4,727
受取手形及び売掛金	27,139	25,921	25,720
商品及び製品	452	360	311
仕掛品	2	32	3
原材料及び貯蔵品	203	0	155
その他	7,230	8,132	6,722
貸倒引当金	△119	△140	△106
流動資産合計	40,709	38,751	37,533

### 総資産

現金及び預金や受取手形及び売掛金の増加などによる流動資産の増加・投資その他の資産の減少などによる固定資産の減少により、前連結会計年度末に比べ61百万円増加しました。

### 【負債の部】

流動負債	37,900	34,623	37,096
固定負債	34,831	38,385	35,521
負債合計	72,732	73,008	72,617

### 負債

短期借入金や1年以内償還予定社債の減少がありました。賞与引当金や未払法人税などの増加などにより流動負債が増加し、長期借入金の減少などにより固定負債が減少したことにより、前連結会計年度に比べ、114百万円増加しました。

### 【純資産の部】

資本金	11,933	11,933	11,933
資本剰余金	17,354	17,354	17,354
利益剰余金	25,115	24,760	24,820
自己株式	△6,788	△5,936	△6,436
株主資本合計	47,614	48,111	47,672
その他有価証券評価差額金	△1	28	10
評価・換算差額等合計	△1	28	10
少数株主持分	208	166	191
純資産合計	47,821	48,306	47,873
負債純資産合計	120,553	121,315	120,491

### 純資産

前連結会計年度末に比べ、52百万円減少しました。

## ■ 連結損益計算書(要約)

[単位:百万円]

	第38期中間	第37期中間	前期
	(平成21年4月1日から平成21年9月30日まで)	(平成20年4月1日から平成20年9月30日まで)	(平成20年4月1日から平成21年3月31日まで)
売上高	112,643	105,958	213,601
売上原価	89,917	88,049	174,900
売上総利益	22,725	17,908	38,701
販売費及び一般管理費	20,327	19,090	37,687
営業利益又は営業損失	2,398	△1,181	1,013
営業外収益	214	208	473
営業外費用	319	340	687
経常利益又は経常損失	2,293	△1,313	800
特別利益	113	12	97
特別損失	139	89	443
税金等調整前中間(当期)純利益又は純損失	2,266	△1,390	453
法人税、住民税及び事業税	2,141	266	675
法人税等調整額	△573	△134	827
少数株主利益	21	16	41
中間(当期)純利益又は純損失	677	△1,539	△1,090

### 営業利益

主力講座の受講生数伸長による教育事業の好調、在宅系・居住系介護サービス利用者数増によるヘルスケア事業の堅調な推移により大幅に改善しました。

## ■ 連結キャッシュ・フロー計算書(要約)

[単位:百万円]

	第38期中間	第37期中間	前期
	(平成21年4月1日から平成21年9月30日まで)	(平成20年4月1日から平成20年9月30日まで)	(平成20年4月1日から平成21年3月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,175	△826	2,337
投資活動によるキャッシュ・フロー	940	△1,158	△4,139
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5,040	2,669	2,772
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	△0	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,076	684	970
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	30	30
現金及び現金同等物の期首残高	4,436	3,434	3,434
現金及び現金同等物の中間期末(期末)残高	5,512	4,150	4,436

### 営業活動によるキャッシュ・フロー

税金等調整前四半期当期純利益と賞与引当金の増加により、資金が3,996百万円増加しました。

### 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資有価証券の取得などにより、資金が110百万円減少しました。

### 財務活動によるキャッシュ・フロー

主に短期借入金の返済等により、資金が3,172百万円減少しました。

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

# 第38期中間のニチイ TOPICS

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
<b>教育事業</b>	<p>1日当たりの診断群分類点数をもとに医療費を計算する会計方式「DPC」を実施する医療機関向けシステムを販売</p> 	<p>先発医薬品から後発医薬品への置き換えシミュレーションを調査報告するサービスをスタート</p>	<p>株主様の日頃のご愛顧に感謝を込めて、株主優待を実施</p>  <p>教育講座受講料割引</p>	<p>子育て家庭の負担を軽減すべく、各自治体から子育て支援サービスを受託し、運営開始</p> 	<p>全国約100の教室にて医療と介護の講座を無料体験できるイベントを開催</p> 	<p>○講座体験フェアを開催</p>
<b>医療関連事業</b>	<p>○DPC検証支援システム「DPC革命」販売開始 <b>START</b></p> <p>医療・介護などの福祉分野に関する情報誌を創刊 偶数月6日発行</p> 	<p>○後発医薬品置き換え調査サービスを開始 <b>START</b></p> 	<p>○子育て支援サービスの拡充</p> <p>全国の医療機関や介護事業所、福祉に関する情報を検索できる総合ポータルサイトを開設</p> 	<p>○医療・介護・福祉の総合ポータルサイト「Lifeclover」を開設 <b>START</b></p> <p>○高齢者専用賃貸住宅「アイリスガーデン昭島」先行予約開始</p> <p>○「オヤノコト・エキスポ2009」に出展</p> <p>高齢の親世代の生活を考える・支えるためのイベントに出展</p> 	<p>2010年1月オープンに向け、入居申込先行予約開始</p> 	
<b>ヘルスケア事業</b>	<p>○情報誌「Tomoniile(ともにーる)」創刊 <b>START</b></p> <p>○グループホームニチイのほほえみ高岡オープン <b>NEW</b></p> 	<p>○グループホームニチイのほほえみ宇都宮オープン <b>NEW</b></p> <p>医療機関に向けた包括的なコンサルティングサービスの提供を目的とした子会社を設立</p>	<p>○株主優待をスタート <b>START</b></p> <p>○株主総会</p>	<p>○「オヤノコト・エキスポ2009」に出展</p>		
<b>会社の動き</b>	<p>○新CM放映開始 <b>START</b></p> <p>○ホームページリニューアル</p> <p>○株式会社ダスキンゼロケアの事業譲受け</p> <p>株式会社ダスキンとの資本・業務提携の一環として実施</p> 	<p>○株式会社ニチイ総合研究所創設 <b>START</b></p> <p>○2009年3月期通期決算説明会開催</p>			<p>○24時間テレビでCM放映</p> <p>○株式会社アドバンスト・メディアとの資本・業務提携</p> <p>音声認識ソリューションサービスの協業体制を構築し、医療・介護分野の事業効率化を推進</p> 	

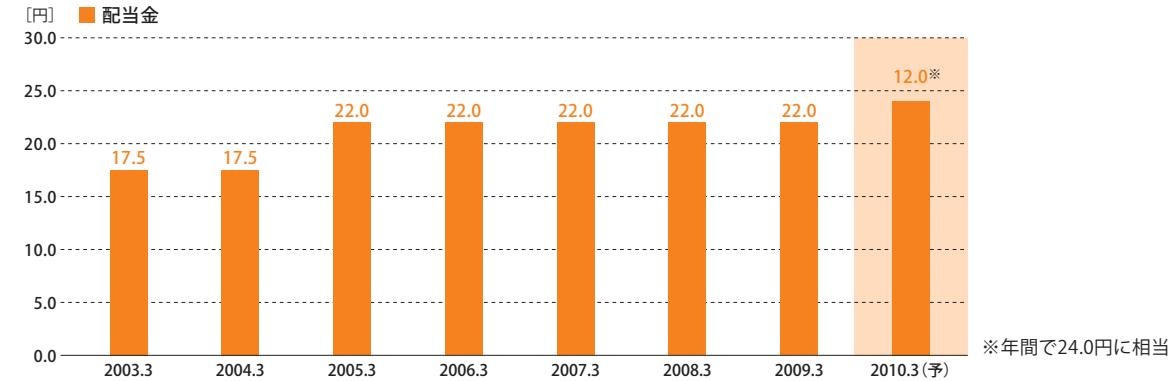
## ■ 配当に関するお知らせ

当社企業グループは、株主の皆様への安定且つ継続的な利益還元を基本方針とし、中長期的な視野での業績動向を勘案し、連結をベースとした配当政策を策定しております。

平成22年3月期につきましては、業績回復がより力強くなることを予想しており、年間1株配当金は12円(分割考慮で年間24円)とし、利益配分をより拡充する方針であります。

	2008年3月期	2009年3月期		2010年3月期	
年間金額	年間22円	年間22円		年間12円 ← 分割を考慮すると年間24円	
金額		中間11円	期末11円	中間6円	期末6円
通知発送	6月末	12月末	6月末	12月末	6月末
支払開始日	平成20年6月27日	平成20年12月11日	平成21年6月29日	平成21年12月10日	—
TOPICS		中間配当実施 株式分割実施		増配 (分割考慮)	

株式の流動性を高めるとともに投資家層の更なる拡大をはかるため、平成21年3月31日最終の株主名簿及び実質株主名簿に記載された株主の所有普通株式1株につき2株の割合をもって分割いたしました。



## ■ 株式の状況 (平成21年9月30日現在)

会社が発行する株式の総数	220,000,000株
発行済株式総数	73,017,952株
資本金	11,933,790,500円
株主数	21,652名

## ■ 大株主 (平成21年9月30日現在)

大株主	持株数(千株)	持株比率(%)
有限会社 明和	12,990	17.79
寺田 明彦	9,580	13.12
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社	6,463	8.85
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社	3,627	4.96
資産管理サービス 信託銀行株式会社	2,593	3.55
株式会社三菱東京UFJ銀行	1,607	2.20
日本生命保険相互会社	1,240	1.69
ザチェースマンハッタンバンク エヌエイロンドンエスエル オムニバスアカウント	1,127	1.54
株式会社東京都民銀行	1,010	1.38
ハイアット	1,000	1.36

(注1) 上記のほか、自己株式(3,514千株)があります。  
(注2) 信託銀行持株数には、信託業務に係るものが含まれています。  
(注3) 持株数については、千株未満を切り捨てて表示しています。

## ■ 会社概要 (平成21年9月30日現在)

商号	株式会社ニチイ学館
所在地	東京都千代田区神田駿河台2丁目9番地 TEL:03(3291)2121(代表) TEL:03(3291)3954(広報本部)
設立	昭和48年8月
従業員数	14,823名(連結) 10,845名(単独)
事業所数	17営業統括部 96支店 15営業所 860介護事業所 283施設(介護付有料老人ホーム・グループホーム・ 高齢者専用賃貸住宅等 計)

## ■ 役員 (平成21年9月30日現在)

代表取締役会長	寺田 明彦	常勤監査役	山下 吉三
代表取締役社長	寺田 大輔		小島 啓克
代表取締役副社長	谷治 一好	監査役	大石 豊
専務取締役	斉藤 正俊		大島 秀二
常務取締役	金井 進	執行役員	時枝 優
常務取締役	森 信介		小原ツヤ子
取締役	寺田 孝一		伊藤 健三
	海瀬 光雄		池田千恵子
	荒井 尚美		平岡 靖宏
	木原佳代子		
	北村 俊幸		
	増田 崇之		
	上利 保人		
	寺田 剛		